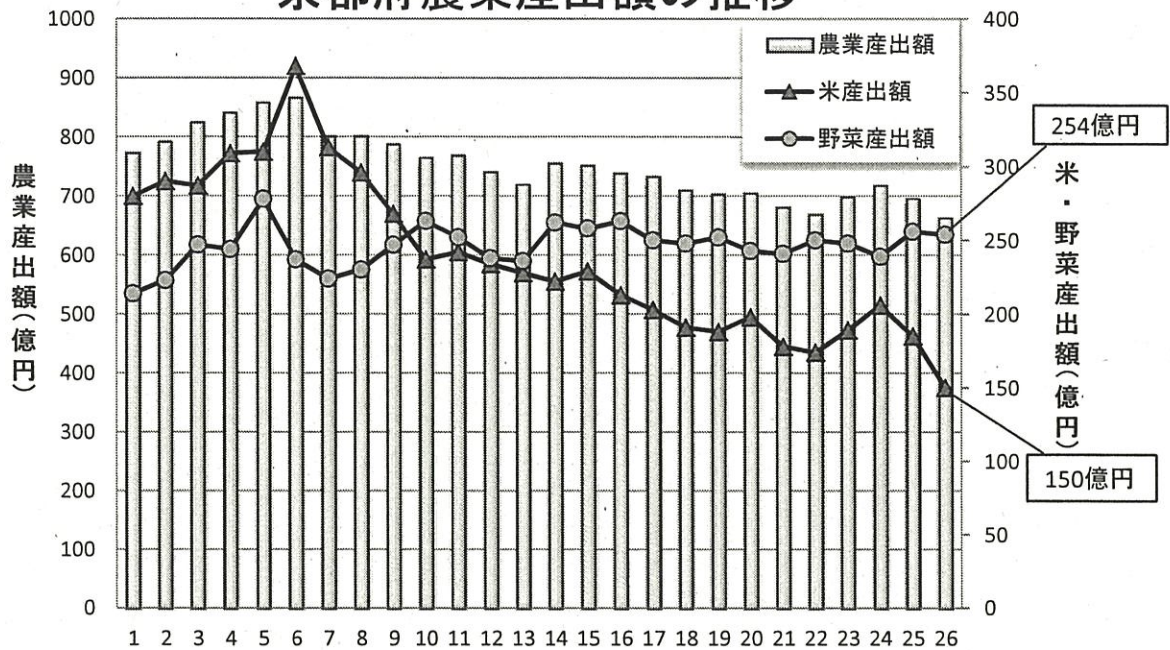
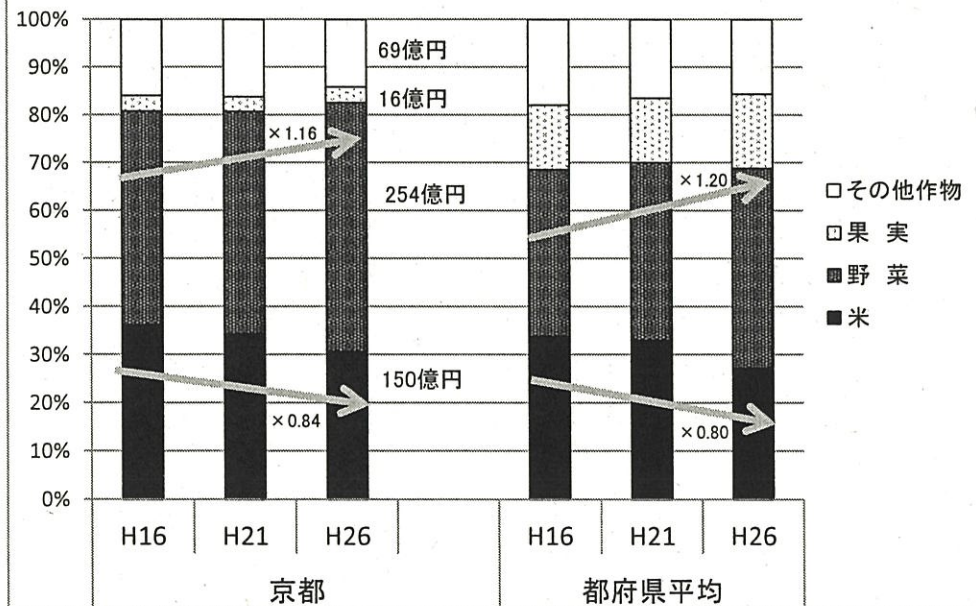


京都府農業産出額の推移



主要品目が農業産出額に占める割合(耕種部門)

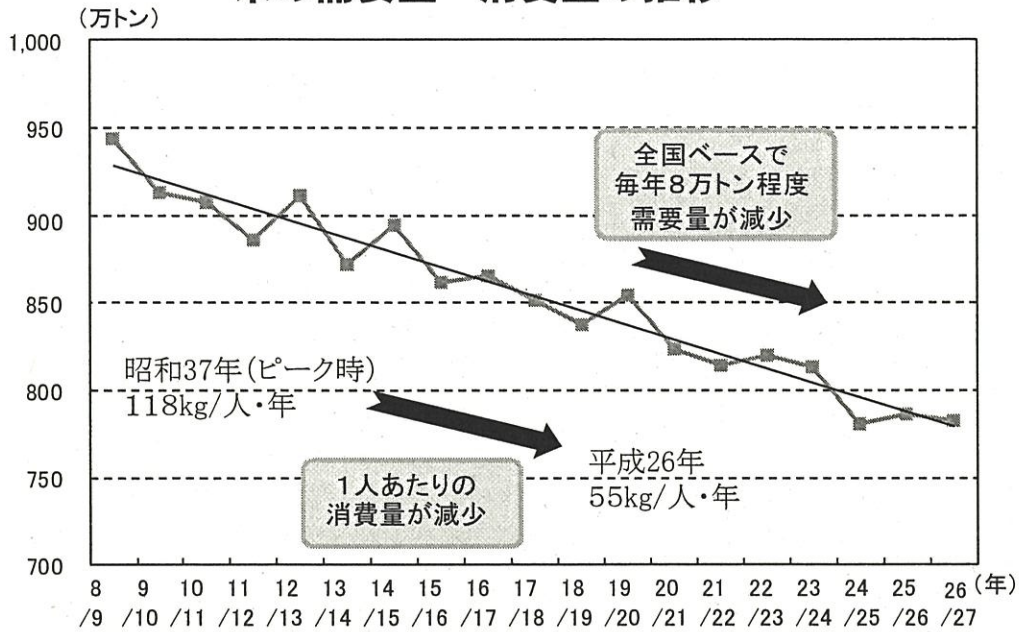


※H26生産農業所得統計(農林水産省)より

野菜の構成比(H26): 京都51.9%、都府県平均41.7%

野菜の構成比の伸びは都府県平均よりやや緩やかだが、重要な品目となっている
米の構成比の低下は都府県平均よりやや緩やかで、他地域よりも重視されている

米の需要量・消費量の推移



資料: 農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」「食糧需給表」

主食用米等の民間流通における6月末在庫の推移及び相対取引平均価格



※農林水産省「米に関するマンスリーレポート」(平成28年5月公表)より農産課作成

■相対取引平均価格(注)

- 1 価格には、運賃、包装代、消費税相当額(8%)。ただし、25年産の26年3月分以前は5%が含まれている。
- 2 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月までの通年平均。27年産のみ平成28年3月までの平均値。

■民間流通における6月末在庫の推移(注)

- 1 うるち玄米及びもち玄米の値である。
- 2 各年の民間在庫量は年間玄米取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。
なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」(平成22年以降は「生産者の米穀在庫
- 3 平成26年の出荷段階の在庫量は、米穀機構の買入数量35万トンを含んでいない。
- 4 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

米の収入に占める「経営所得安定対策等交付金」の割合

単位:円/10a

		販売収入	経営所得安定対策等交付金	収入合計 A	収入に占める交付金の割合	生産費 B	差引(A-B)
京都府	コシヒカリ(一般)	92,950	7,500	100,450	7.5%	99,964	486
	京の輝き(加工用米)	56,950	52,200	109,150	47.8%	99,964	9,186
(参考)全国	主食用米	92,950	7,500	100,450	7.5%	85,724	14,726

※販売収入は、農産課推定値(全国の主食用米は京都府コシヒカリと同額で仮置き)。

※交付金のうち、米の直接支払交付金は、実際は主食用米の作付面積から自家消費相当分として一律10a控除して算定されるが、ここでは10a控除はしていない

※生産費は農林水産省統計(平成26年産)の全算入生産費から家族労働費、自己資本利子、自作地地代を控除したもの。

京都府水稲品種別作付面積 (平成27年産)

品種名	作付割合	主な作付地域				
		京都乙訓	山城	南丹	中丹	丹後
コシヒカリ	52.6%				○	○
キヌヒカリ	22.2%			○		
ヒノヒカリ	14.9%	○	○			
京の輝き	2.3%					○
新羽二重糯	1.8%	○	○	○	○	○
祭り晴	1.7%	○		○		
どんとこい	0.9%					○
祝	0.8%					○
五百万石	0.7%				○	
日本晴	0.5%	○		○		

※京都府農産課調べ(種子配布実績と府内主食用米水稲作付面積からの換算値、「京の輝き、祝、五百万石」は調査値)

新興ブランド米の相対取引価格 (平成28年2月)

県名	品種名	価格 (円/60kg) (平成27年産米)
北海道	ゆめぴりか	17,118
山形	つや姫	18,159
福岡	元気つくし	15,265
佐賀	さがびより	14,206
鹿児島	あきほなみ	14,732
(京都)	コシヒカリ	14,088

資料:農林水産省「コメに関するマンスリーレポート」

水稻奨励品種決定調査について

平成 27 年 11 月 26 日

農林センター作物部

近年の温暖化傾向により、水稻の品質低下が問題となっていますが、温暖化条件下でも品質低下しにくい、新たな品種が育成されています。そうした品種の内、農林センターでは「つや姫」、「きぬむすめ」、「にこまる」を有望視して検討しています。

□供試品種の特徴

「つや姫」

- ・山形県育成。平成 21 年に山形県が奨励品種に採用。以降、宮城県、大分県、島根県、長崎県で奨励品種に採用。
- ・早生品種、収穫時期はコシヒカリと同程度。コシヒカリに比べ稈長が短く、外観品質良く、良食味。

「きぬむすめ」

- ・九州沖縄農業研究センター育成。大阪、和歌山、鳥取、島根、静岡、兵庫、山口の 7 府県で奨励品種に採用。
- ・中生品種、収穫時期はキヌヒカリに比べ 20 日遅い。キヌヒカリに比べ多収。外観品質良。良食味。

「にこまる」

- ・九州沖縄農業研究センター育成。長崎、大分、静岡の 3 県で奨励品種に採用。石川、栃木、滋賀、京都、岡山、広島など 15 府県で産地品種銘柄。
- ・晩生品種、収穫時期は ヒノヒカリより 3 日遅い。ヒノヒカリに比べ多収。外観品質良。良食味。

「西南 136 号」

- ・鹿児島県農業開発総合センター育成。
- ・早生品種、収穫時期はコシヒカリより 15 日遅い。コシヒカリに比べ短稈で耐倒伏性にすぐれ、多収。良食味。

品種	出穂期 (月. 日)	成熟期 (月. 日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	収量 (kg/a)	同左 収量比	千粒重 (g)	整粒率 (%)	食味 推定値 (SHON値)
つや姫	8. 03	9. 05	77. 3	18. 9	333	58. 6	102	22. 0	72. 3	79. 9
西南136号	8. 10	9. 20	82. 5	19. 6	414	68. 8	120	23. 6	71. 6	86. 6
コシヒカリ	8. 03	9. 05	87. 1	19. 8	315	57. 4	(100)	22. 4	70. 2	77. 5
きぬむすめ	8. 14	9. 25	82. 3	19. 4	354	61. 6	119	22. 6	71. 4	81. 3
キヌヒカリ	8. 01	9. 05	79. 1	18. 5	297	51. 9	(100)	22. 3	65. 6	69. 8
にこまる	8. 22	10. 07	88. 7	20. 4	294	58. 2	109	23. 8	80. 4	83. 8
ヒノヒカリ	8. 19	10. 04	83. 5	19. 8	327	53. 2	(100)	22. 3	80. 0	75. 9

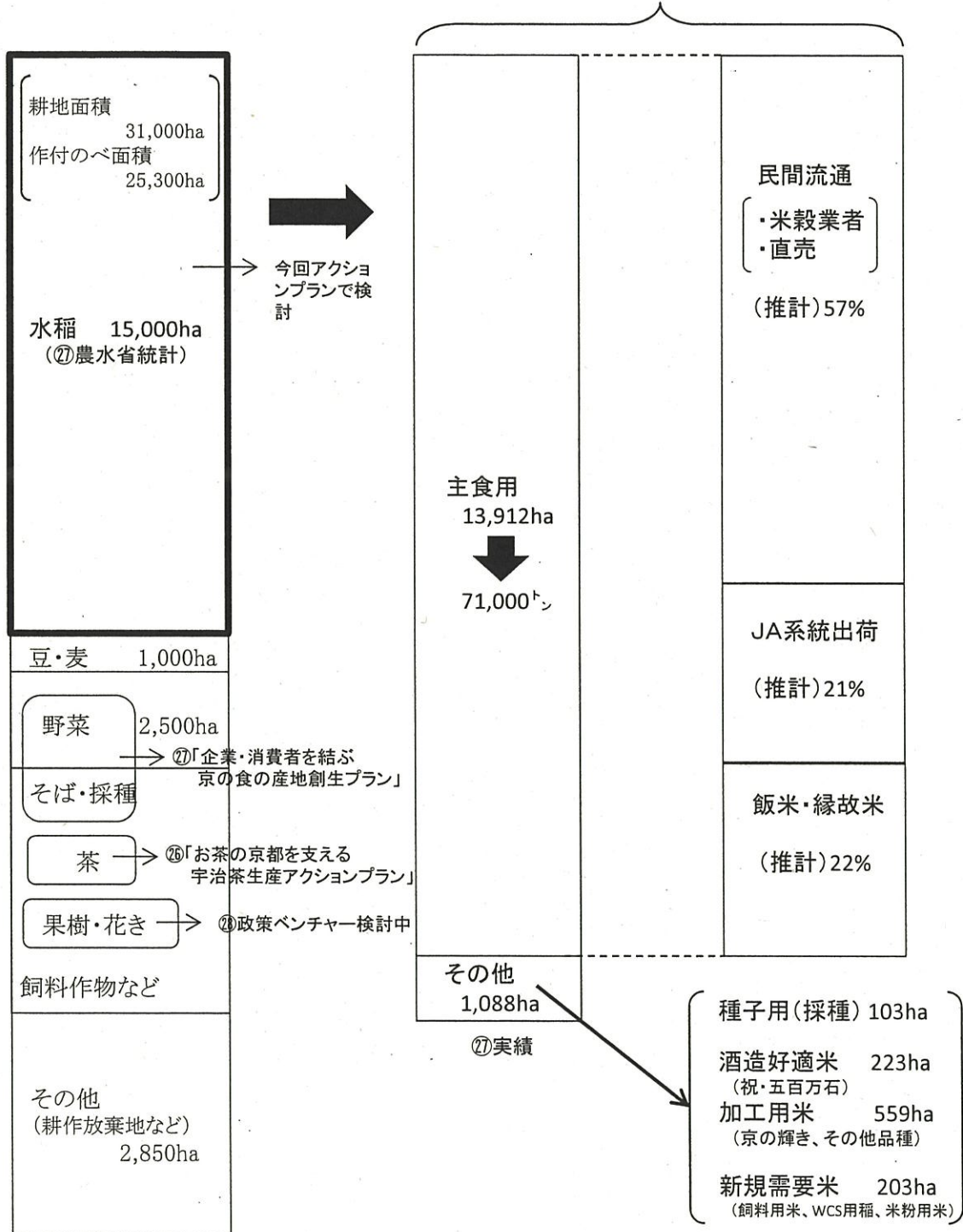
京都府農林水産技術センター（亀岡市余部町）における平成24～26年の平均値。

整粒率はサタケ穀粒判別器RGQ120Aにより測定。食味推定値はニレコ近赤外線分析器NIRS6500により測定。

京都府の水田利用状況と水稲の用途別内訳

京都府の水田の土地利用

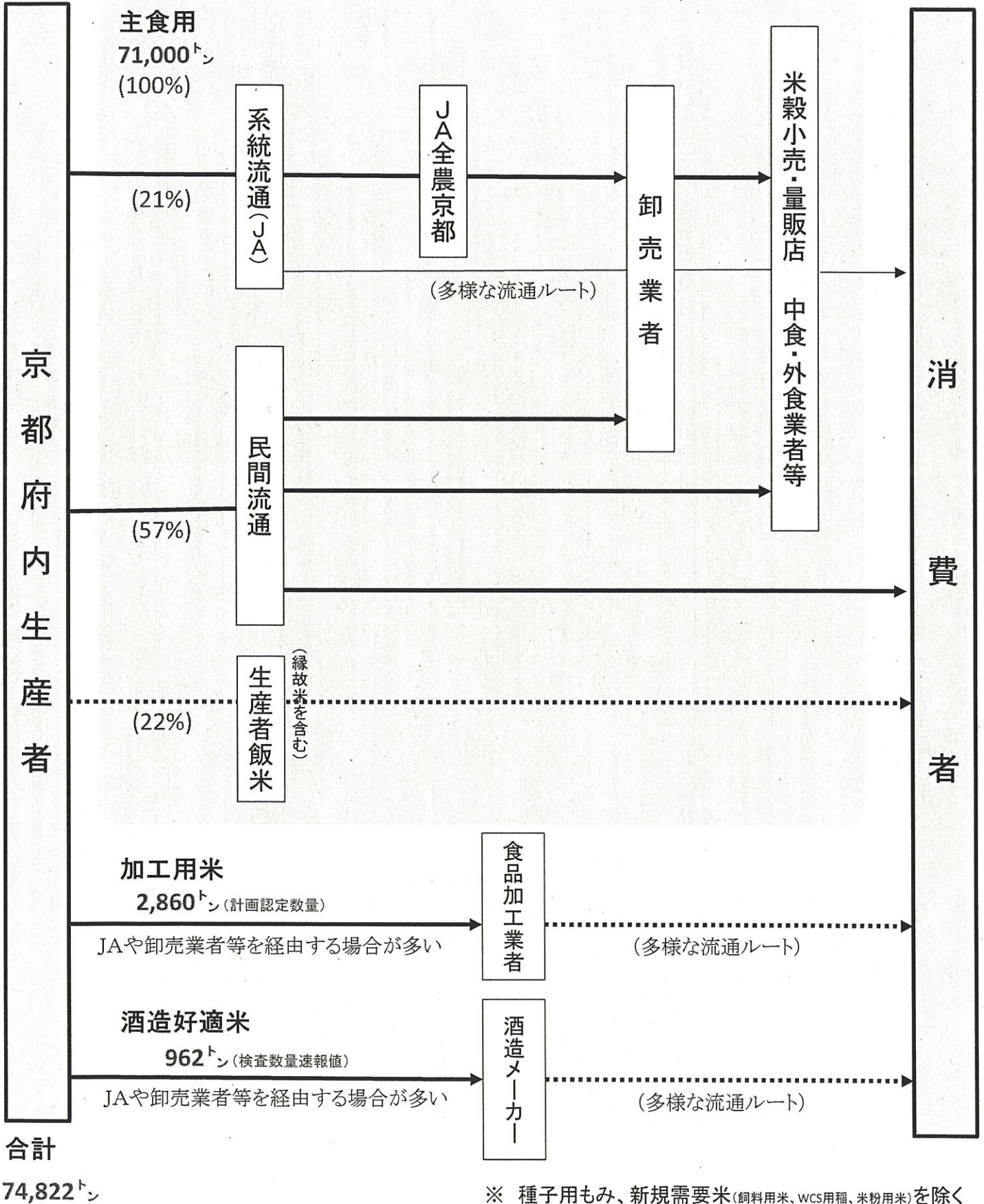
水稲の用途別内訳



《参考》 ⑦全農実績 祝454トン、五百万石348トン、京の輝き1,675トン

府内産のコメ流通と取扱量 (平成27年産)

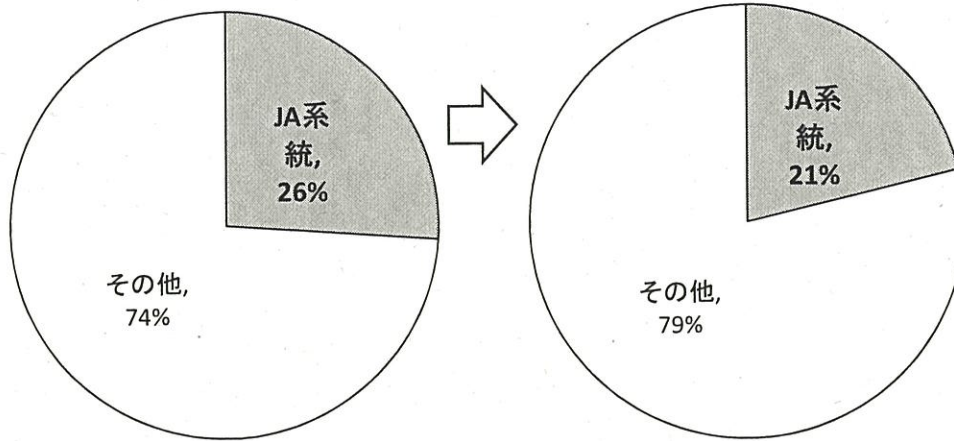
※出典の記載が無い数値は京都府農産課推定値



京都府における主食用米のJA取扱率の変化

《平成17年産》

《平成27年産》



府内JAの水稲乾燥調製施設の設置及び稼働状況

	設置 施設数	処理能力 (トン)A	処理実績(トン)B			稼働率(B/A)		
			H22年	H27年	(増減)	H22年	H27年	(増減)
京都乙訓	3	1,653	1,234	1,056	▲ 178	75%	64%	-11%
山城	1	483	420	291	▲ 129	87%	60%	-27%
南丹	9	12,604	5,286	4,194	▲ 1,092	42%	33%	-9%
中丹	7	6,468	2,620	2,394	▲ 226	41%	37%	-3%
丹後	7	7,928	2,403	2,016	▲ 387	30%	25%	-5%
合計	27	29,136	11,963	9,951	▲ 2,012	41%	34%	-7%

(参考)

	H22年	H27年	(増減)	(増減/H22年)
米生産量	79,600	76,500	▲ 3,100	-4%

- ※ 施設数は稼働施設のみ、運営を地域に委託している施設を含む
- ※ 米生産量は水稲の収穫量(子実用) 出典: 農林水産省統計
- ※ ラウンドの関係で数値の合わないところがあります。